

ネギ黒腐菌核病に対するセルトレイ灌注処理の防除効果

土壌伝染性のネギ黒腐菌核病は、ネギの重要病害の一つです。従来の防除対策としては、労力の掛かる土壌消毒が有効でしたが、近年、作業が簡便な薬剤のセルトレイ灌注処理(写真1右上)が注目を浴びています。府内では、ネギは周年栽培されているので、本病の活動時期とされる秋～翌春の作期別の灌注処理を検討したところ、各作期とも高い防除効果(表1、写真1)が認められました。今後は、本成果を情報提供し、ネギの安定生産に寄与します。

表1 ネギ黒腐菌核病に対するセルトレイ灌注処理の作業別防除効果

作期	試験区	発病率(%)	*防除価
9月定植12月収穫	セルトレイ灌注処理区	0	100
	無処理区	44	
10月定植3月収穫	セルトレイ灌注処理区	6	94
	無処理区	100	
3月定植5月収穫	セルトレイ灌注処理区	0	100
	無処理区	56	

*防除価=100-(セルトレイ灌注処理区の発病率/無処理区の発病率×100)



写真1 ネギ黒腐菌核病に対するセルトレイ灌注処理の防除効果

右 上 : セルトレイ灌注処理模式図

(100倍、0.5L/1セルトレイ、定植直前)